



株主・投資家の皆さまへ

2016年 3月期 第2四半期 | No.50



01 CEOメッセージ
上期の業績は順調に推移。2018年3月期の当期純利益3,000億円の実現を目指してまいります。

03 オリックスReview
業績推移・セグメント情報・事業活動トピックス

05 おしえて！オリックス Vol.10
農業のビジネス化で地域活性化に貢献

07 世界に広がるオリックスグループ
中東地域におけるオリックスグループの中心

08 キーパーソンが語る「未来を創るオリックス」
オリックス生命保険の拡大を目指して

09 株主アンケート結果のご報告、2015年3月期 株主総会のご報告

10 企業情報

裏表紙 オリックス・バファローズ ニュース



証券コード:8591

上期の業績は順調に推移。
2018年3月期の当期純利益
3,000億円の実現を
目指してまいります。

2015年12月

取締役 兼 代表執行役社長
グループCEO

井上 亮



□ ————— □
当期純利益は過去最高額を更新
□ ————— □

平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。2016年3月期上期連結決算の内容をご報告申し上げます。

2016年3月期上期の当期純利益は前年同期比14%増の1,613億円となり、上期の当期純利益では6期連続で増益となりました。2018年3月期の当期純利益3,000億円の達成に向けて、お陰さまで好調なスタートを切ることができました。8月以降、中国株式市場の変動、元の切り下げ、米国金利の利上げの先送りなど世界経済

中期的な方向性

2018年3月期に当期純利益3,000億円、ROE11~12%の実現を目指します。

既存事業の
成長

重点分野への
新規投資



非金融事業の
拡大

は若干混乱しましたが、既存事業からの収益は順調に推移いたしました。また、8月に米国の連結子会社Houlihan Lokey, Inc. がニューヨーク証券取引所に上場し、株式売却益等を計上することができました。

□ ————— □
重点分野は順調に進捗
□ ————— □

次に、2018年3月期の当期純利益3,000億円達成に向けた重点分野である、環境エネルギー、アジアのネットワーク、プライベート・エクイティ投資、アセットマネジメントの進捗についてご報告申し上げます。

環境エネルギー事業では、グループ全体で900MW相当のメガソーラーを順次稼働させることに加え、電力小売の規模を拡大させていきます。また、自社電源の開発として、石炭・バイオマス混焼火力発電所2基の建設を始めます。アジアのネットワークの拡充につながる動きとしては、インドネシアの自動車ファイナンス会社の買収、カンボジアACLEDA銀行への追加出資を行いました。国内でのプライベート・エクイティ投資では、宅配水事業を行うコスモライフを買収するなど、着実に新しい投資を積み上げております。アセットマネジメントにつきましては、既存のネットワークを活用した拡大を図りつつ、引き続きM&Aの機会を探ってまいります。

さらに新規事業として、空港運営に参画する予定です。オリックスとヴァンシ・エアポートを中核企業とする共同事業体が、関西・大阪(伊丹)両空港の空港運営に関する事業の優先交渉権者に選定されました。今後、実施契約の締結

に向けてしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

□ ————— □
持続的な利益成長とともに
安定した増配に努めます
□ ————— □

当期より初めて中間配当を実施し、中間・期末と年2回の配当を予定しています。中間配当につきましては期初に公表した予想額のとおり1株あたり22円とし、期末配当金の予想額は、利益成長を踏まえて1株あたり23円としました。通期での配当予想額は前期の36円から9円増配した45円と、前期比25%の増加、配当性向は23%を予定しています。持続的な成長に向けた投資に資本を使わせていただきたいという基本的な考え方に変化はございませんが、同時に株主の皆さまへの安定した還元にも努めてまいります。

今後も安定収益の割合を高めながら、その次の持続的な成長ステージの足固めを行ってまいります。3年という期間でのオリックスの変化と成長、社会の課題を事業機会に転換する姿にご期待いただきたいと思います。今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

用語解説

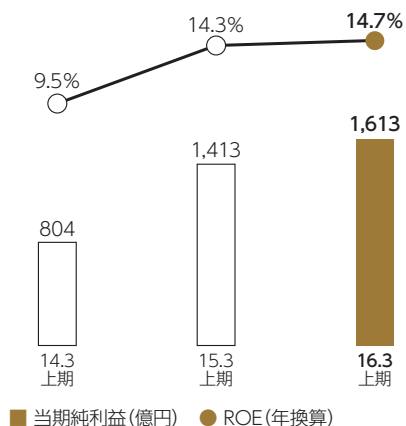
プライベート・エクイティ投資 株式の未公開会社または事業に関する投資。未公開のベンチャー企業などへの投資や、上場企業に対する経営参加もしくは部門買収などを行うこと。

アセットマネジメント さまざまな資産の管理・運用を実際の所有者・投資家に代行して管理を行うこと。

業績推移

2016年3月期上期のポイント

- ▶ 当期純利益は前年同期比14%増の1,613億円、6期連続で増益
- ▶ 営業収益、当期純利益ともに過去最高額を更新
- ▶ ROEは14.7%を達成



* 「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。

セグメント情報

セグメント利益 (億円)	法人金融サービス		メンテナンスリース		不動産		事業投資		リテール		海外	
	15.3 上期	16.3 上期	15.3 上期	16.3 上期	15.3 上期	16.3 上期	15.3 上期	16.3 上期	15.3 上期	16.3 上期	15.3 上期	16.3 上期
	126	216	215	231	158	337	145	365	770	321	615	979
セグメント資産 (億円)	9,836	10,685	6,561	6,993	8,852	7,539	5,968	5,990	39,070	34,732	20,901	21,721
セグメント資産ROA* (%)	1.6	2.6	4.3	4.5	2.2	5.6	3.2	7.7	3.3	1.2	3.9	6.0

* 税引後

セグメント別2016年3月期上期までのポイント

法人金融サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 弥生の利益貢献、法人向け各種手数料ビジネスからの利益が順調に増加。 ● 当第1四半期に投資先の株式売却益を計上。
メンテナンスリース	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車事業のリース資産が順調に拡大したことにより、リース収益が増加。 ● 車両管理などの付加価値サービスの収益も増加し、高収益性を堅持。
不動産	<ul style="list-style-type: none"> ● 賃貸不動産売却益、およびホテル・旅館などの運営事業によるサービス収入が増加。 ● 資産残高の減少および保有資産の評価損減少に伴い、セグメント費用が減少。
事業投資	<ul style="list-style-type: none"> ● 投資先からの収益や投資先の株式売却益が増加。 ● 環境エネルギー事業の収益が順調に推移。
リテール	<ul style="list-style-type: none"> ● 生命保険の保険収益が順調に伸長。 ● 前年同期は、マネックスグループの株式売却益、ハートフォード生命の買収による利益を計上。
海外	<ul style="list-style-type: none"> ● ロベコのアセットマネジメント収益や米州の金融収益、アジアの有価証券売却益が増加。 ● Houlihan Lokey, Inc. の新規株式公開に伴う株式売却益と評価益を計上。

より詳しい財務情報はオリックスIRサイトへ

<http://www.orix.co.jp/grp/ir> **オリックス IR** 検索

事業活動トピックス

5月 「茨城県鹿島港沖大規模洋上風力発電所」事業へ参画

オリックスは、小松崎グループの株式会社ウィンド・パワー・グループ、SBエナジー株式会社が茨城県神栖市の鹿島港沖で進める大規模洋上風力発電事業「茨城県鹿島港沖大規模洋上風力発電所」の建設に参画し、共同で発電事業を推進することに合意しました。オリックスが洋上風力発電事業に参画するのは初となります。

本事業は1基あたり5,000kWの大型風力発電機を20基設置し、出力規模はアジアでも最大規模の約10万kW(約100MW)を予定しています。また、年間予想発電量は約2億4,500万kWh/年を見込みます。今後も風力発電所をはじめとする、自然エネルギーの普及・拡大を目指します。

8月 振込手数料削減サービス「Flico(フリコ)」を開始

オリックスは、全国の法人および個人事業主のお客さま向けに、振込手数料の削減につながる決済サービス「Flico(フリコ)」を開始しました。本サービスは、お客さまの仕入れや経費支払いなど日常業務で発生する振込業務をオリックスがまとめて受託し、1件あたり一律280円(税込)の手数料で、送金先への振込代行を行う決済サービスです。

このような企業間取引の決済サービスを拡充することで、売上拡大や業務の効率化、コスト削減など、お客さまのさまざまなニーズにお応えします。

9月 「宇奈月 杉乃井ホテル」展望露天風呂「棚湯」をオープン

オリックス不動産が運営する富山県宇奈月温泉の温泉旅館「宇奈月 杉乃井ホテル」は、本館1階に3段の湯船で構成された展望露天風呂「棚湯」を新たに開設しました。宇奈月・黒部川のシンボル「新山彦橋」と黒部川の絶景を驚沢に望め、四季折々の風情を感じていただけます。

本施設は、北陸新幹線開業日の2015年3月14日にリブランドオープンし、これまでにエントランスロビーなどの改装や、バイキングレストランを新設しました。今後も、より一層北陸の魅力を感じていただける施設を目指します。



「宇奈月 杉乃井ホテル」展望露天風呂「棚湯」

11月 インドネシアの独立系オートローン会社を買収

オリックスは、インドネシアでオートローン事業を展開するPT. Sinar Mitra Sepadan Finance(以下「SMSJ」)を買収しました。SMSJは2000年に設立され、個人事業者および個人を顧客基盤とする独立系のオートローン事業者です。インドネシア全国に106の支店網を有し、中古の市場価格が底堅い日本車のミニバンやトラックを主体に取り扱っています。

オリックスは1975年にインドネシアに進出し、現地の大手企業から中堅・中小企業向けに設備リースや自動車リース事業を展開してきました。本取り組みでオートローンへと事業領域を拡大し、同国での金融サービスの多角化を図ります。



農業のビジネス化で 地域活性化に貢献

オリックスは、日本の成長産業として位置付けられ、今後の成長が期待されている農業分野での事業にチャレンジしています。雇用の創出など地域の活性化に貢献するとともに、付加価値の高い農業事業の展開を目指しています。

日本の農業の発展に 寄与することを目指し、 安心・安全な野菜を提供

オリックスグループでは、現在二つの農業ビジネスに取り組んでいます。一つはオリックス農業が兵庫県養父市において完全人工光型植物工場を開設し、2014年7月より「Lovege（ラベージ）」と名付けたリーフレタスやサンチュなどの葉物野菜を生産しています。もう一つは、2015年9月に長野県諏訪郡富士見町で葉物野菜を生産する大規模水耕栽培施設を開設し、サラダほうれん草、サラダルッコラなど7種類の「サラダ素材（生食用）」を生産しています。生産した野菜は、オリックスグループの営業ネットワークなどを通じて、多くの皆さまへ安心・安全なおいしい野菜をお届けします。



オリックス八ヶ岳農園の水耕栽培施設

大規模水耕栽培施設で生でも食べられる葉物野菜を生産

オリックス八ヶ岳農園は、八ヶ岳の麓の標高1,100mに立地する太陽光利用型の大規模水耕栽培施設で生でも食べられる葉物野菜を生産しています。養液を使った水耕栽培により栽培期間を短縮させ、年間で最大19回の収穫が可能です。また、日本有数の日射量と豊富な伏流水といった良好な自然条件のもとで1年を通じて「4定（定価格、定品質、定時期、定量）販売」が可能なことから、合計約430トンの出荷を計画しています。



農業の新たなビジネスモデルの構築に取り組む

オリックス農業は、過疎地域の人口減少などの支援や研究を行う関西学院大学と、廃校の有効活用を推進する養父市との産官学連携により、廃校を活用した完全人工光型植物工場「養父レタス工場」を運営しています。また、2015年6月には、国家戦略特区である養父市の100%出資のやぶパートナーズ株式会社、JAたじま、地元農業者との共同出資により、農業生産法人「やぶファーム株式会社」を設立しました。初年度は養父市の特産であるピーマン、黒大豆、にんにくなどの露地栽培を行っています。生産、販売、物流が一体となった協力体制を確立することで、中山間地域における新たな農業ビジネスモデルの構築に取り組んでいます。



オリックス八ヶ岳農園
株式会社
代表取締役社長
飯島 俊輔

信州八ヶ岳高原の 無農薬野菜を全国ブランドへ。

オリックス八ヶ岳農園では、大規模で効率化された生産施設にて安心安全な無農薬野菜を安定供給しています。「信州八ヶ岳高原の無農薬野菜」を全国ブランドに育てることで、地域の活性化に貢献したいと考えています。また、本事業を拡大させることで政府が成長産業と位置付けた農業の振興に寄与してまいります。



オリックス農業株式会社
養父レタス工場長
吉田 宏樹

子どもたちの笑顔を育んだ体育館で、 おいしい野菜を生産しています。

オリックス農業では、廃校となった体育館で完全人工光型植物工場を運営しています。植物工場では、最新技術を生かして衛生管理を徹底することで、お客さまに安心・安全でおいしい野菜を安定的に供給しています。今後も、農業振興を積極的に推進し、地域の活性化に貢献してまいります。

中東地域における オリックスグループの中心

～グループの地域展開を支え、金融関連商品の多様化においても地域を主導～

オリックスグループの海外現地法人から、
事業活動をはじめ、さまざまな情報をお届けします。
今回はパキスタンの現地法人についてご紹介します。



ORIX Leasing Pakistan Limited(以下「OLP」)は、オリックスグループにおける南アジア・中東地域初の現地法人として、1986年に設立されました。パキスタン政府は国の設備投資を増やすための政策的手段としてリースの活用を考えていたこともあり、設立当初からOLPは発展し続けてきました。現在では、パキスタンの最大都市カラチを本拠に国内全域で事業を展開しています。また、パキスタンの3つの証券取引所のすべてに上場するなど、パキスタンの代表的なノンバンクのひとつとなりました。

さらに、OLPはオリックスグループが他の中東地域に進出する際にも重要な役割を果たしています。オマーンやエジプト、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、カザフスタンといった国々におけるリース会社設立時のサポートはもちろん、多くのOLP社員をこれらの国に派遣し、継続的に事業を支えています。



現地リポーター
ORIX Leasing Pakistan Limited
Senior Group Manager
Asrar ul Hasan Alvi

パキスタンは、南アジアや中央アジア、中国、中東地域の交差点として位置づけられ、人口は世界第6位となる約1億9千万人にのびります。近年は都市化が進み、消費者ニーズが多様化してきたことで、サービスもより高度なものが求められるようになってきました。

現在、パキスタンは治安問題や自然災害の被害を抱えていますが、安定した経済成長を続けており、特に今後は第三次産業を含めた多くの産業分野の成長が期待され、外国からの投資案件も増加しています。OLPは、主にパキスタンの中小企業の成長を支えるファイナンスカンパニーとして、多様化する顧客の期待にお応えするため、ファイナンス・リースにとどまらず、発電機のレンタル、イスラム金融などに事業分野を広げてきました。引き続き、金融関連商品の多様化を進め、パキスタンの成長に貢献していくことを目指します。

パキスタン ひとくち情報

パキスタンの最大都市カラチにも日本食レストランが数軒あります。中には本格的な釜飯を出す店もあり、店の名前も「K AMAME SHI」です。イスラム教を国教としているので豚肉料理はありませんが、寿司、てんぷら、焼き鳥など日本食の代表的なメニューを提供しています。日本から遠いパキスタンでも日本食を楽しむことができるというのは、感慨深いものです。

ORIX Corporation Representative Office Dubai
Deputy Representative **井上 和人**

オリックス生命保険の 拡大を目指して

オリックス生命保険株式会社
代表取締役社長
片岡 一則



さらなる成長に向けて次のステージへ

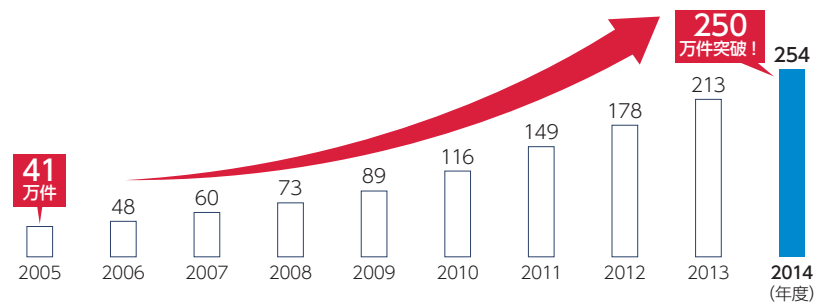
オリックス生命保険は、新契約件数ベースで生命保険会社41社のうち10位前後に位置し、2015年3月末時点で保有契約件数が250万件を突破するなど急成長を続けています。主軸の販売チャネルである保険代理店数は約9,300店と堅調に成長していることから、中堅生命保険会社の域を抜けて次のステージに差し掛かろうとしています。これまでの成長を支えた一番の要因は、商品の競争力です。「シンプルでわかりやすく」「合理的な保障を低価格でご提供すること」を第一に考え、病気やケガによる入院や保障が手厚い商品を拡充してきました。医療保険をはじめ、がん保険、終身保険、収入保障保険もファイナンシャルプランナーなどの保険のプロから高い評価を得ており、保険代理店がお客さまに当社の商品を積極的に勧めていただくことにつながっています。お客さまのニーズに沿った最適な商品を取り揃えとともに、今後のさらなる成長に向けて、以下のような販売チャネルの拡充に取り組んでまいります。

直販チャネルを整備し、ハイブリットチャネルを構築

これまで保険代理店、通信販売、銀行窓口販売の3つのチャネルを軸に新契約件数を伸ばしてきましたが、これらのチャネルは商品や手数料の競争力などの外的要因に左右されることがあります。そのため、既存の3つのチャネルを今まで以上に成長させることに加えて、商品性や価格競争力に左右されにくい直販チャネルに取り組みます。自らの営業力で安定的にビジネスを展開できる直販チャネルを育て、今後は直販チャネルと通信販売を組み合わせたハイブリットチャネルを構築してまいります。

また、アフターフォローや商品選定のコンサルティングを行うなど、今まで以上にお客さまにご満足いただくことを目指します。10年後に保険料等収入を業界トップレベルの水準に引き上げるべく、競争力のある商品開発やチャネルの拡大を促進し、オリックスグループの持続的な成長に貢献していきたいと思っております。

個人保険の保有契約件数の推移(万件)



BAKU BAKU

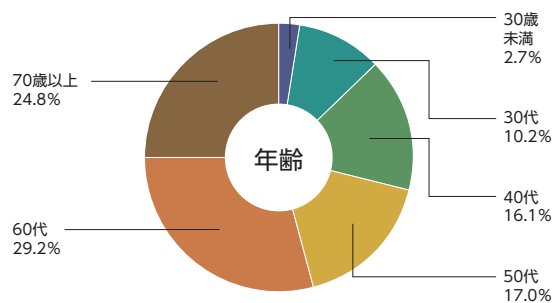
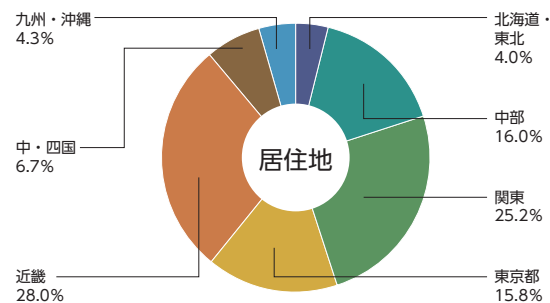
オリックス生命保険公式キャラクター

株主アンケート結果のご報告

2015年7月発行の株主通信「悠」No.49でご協力をお願いしましたアンケートに、前年比6.1倍となる73,036通のご返信をいただきました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。株主さまからの貴重なご意見を、今後の情報発信や株主さま向けサービスの参考にさせていただきます。アンケート結果とご意見の一部をご紹介します。



実施期間 2015年7月～2015年8月 返信数 73,036通 / 返信率:77.5%



Q 事業が多岐に渡っていますが、農業には取り組んでいないのでしょうか。

A ご意見ありがとうございます。今回、「おしえて！オリックス」のコーナーで農業への取り組みをお届けしています。是非5ページをご覧ください。

Q 海外での事業について教えてください。

A ご意見ありがとうございます。「世界に広がるオリックスグループ」では、海外現地法人の事業活動をご紹介します。今回は、中東地域の現地法人を初めて取り上げています。是非7ページをご覧ください。



2015年3月期 株主総会のご報告

第52回定時株主総会は、6月23日(火)午前10時から虎ノ門ヒルズ森タワー5階「虎ノ門ヒルズフォーラム」で開催し、当日は2,430人の株主さまにご出席いただきました。本総会での目的事項である報告事項については滞りなくご報告し、決議事項の2議案につきましてもご承認いただきました。多くの株主さまにご出席いただき、深く御礼申し上げます。

企業情報

■ 会社概要 (2015年9月30日現在)

会社名	オリックス株式会社	拠点数	国内 1,381拠点 海外 547拠点
設立	1964年4月17日		
代表者	取締役 兼 代表執行役社長・グループCEO 井上 亮		*世界36カ国・地域に展開しています。
従業員数(連結)	29,956名		
事業内容	多角的金融サービス業		

■ 株式情報 (2015年9月30日現在)

発行会社	オリックス株式会社	発行済株式の総数	1,324,049,228株
発行可能株式総数	2,590,000,000株	株主数	107,029名
所有者別株主構成比(株式数)		1株当たり配当額の推移(円)	
その他	1.7%	2013.3	13.0
個人	5.6%	2014.3	23.0
金融機関等	30.6%	2015.3	36.0
外国法人等	62.1%	2016.3	22.0 (中間配当)
		2016.3 (予想)	45.0

当社は2013年3月31日最終の株主名簿に記載された株主に対して、2013年4月1日付で1株につき10株の割合をもって株式分割を行いました。1株当たり配当額は当該株式分割を考慮し、過年度についても遡及的に調整しています。

株主メモ

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11
☎0120-232-711 受付時間:9:00~17:00(土・日・祝日休み)

上場金融商品取引所

東京証券取引所市場第1部 [8591]
ニューヨーク証券取引所 [IX]

株式事務に関するお問い合わせ先

株主さまの各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

- 証券会社に口座を開設されている株主さま
お取り引き口座のある証券会社にお問い合わせください。
- 「特別口座」に記載されている株主さま
当社の口座管理機関(兼 株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部(左記)にお問い合わせください。

■ IRスケジュール (本スケジュールは予定であり、変更になる可能性があります。)





たくさんのご声援、ありがとうございました。



福良淳一新監督 からのメッセージ

今シーズンは、観客動員記録を更新するほど多くのファンの皆さまに球場まで足を運んでいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。今季の悔しさを忘れず、投打の底上げに取り組みながら、来季はプレーの正確性を高め、隙のない野球を目指します。優勝することは、私を育ててくれたチームへの使命だと思っています。支えてくださるファンの皆さまの期待に応えられるよう、選手とともに強い気持ちで頑張ります。

来シーズンのバファローズ注目選手



貴重な先発左腕

17

さちや
山崎福也選手

▲11月から7週間プエルトリコで行われているウインターリーグに吉田一選手とともに参加しました。慣れない異国の地でのプレーにより、心身ともに成長した姿にご期待ください！



信頼される中心選手へ

8

駿太選手

▲22歳にしてすでに走塁と守備ではチームトップクラスの駿太選手。秋季キャンプでは、高橋・北川新打撃コーチ陣の指導のもと、課題である打撃面を鍛え抜きました。今後のバファローズの躍進に不可欠な選手です。

秋季キャンプ 情報

～来シーズンに向けて～



来シーズンも
応援よろしく
お願いします！

福良淳一監督による新体制のもと、11月20日まで高知秋季キャンプを行いました。主力選手や若手選手が個々のレベルアップを目標に練習に励みました。選手との対話を重視する福良監督の指導により、愛情を持って厳しく指導する“福良イズム”がチームに浸透しつつあります。



この冊子の内容についての
ご質問、また補足情報をご希望の方は右記までご連絡ください。

オリックス株式会社 経営企画部 グループ広報部
〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル
TEL : 03-3435-3121 FAX : 03-3435-3154
URL : <http://www.orix.co.jp/grp/>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

IX LISTED NYSE